

年 組 番 名前

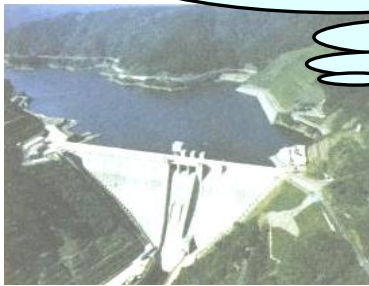
教材 4 - (1) の解答 地域の人々の健康な生活や良好な生活かんきょうを守るための活動

わたしたちは、「水のふるさと」について学習しました。

【資料 1】【資料 2】を見て、【説明】の(ア)～(ウ)にあてはまる言葉を、下の の中の①～⑩から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。

◎確認してみよう

- ・ 水源から家までの水の旅をたしかめてみよう。
- ・ 森林はどの様なはたらきをしているのだろう。



浄水場の施設

取水口、ちんでん池、ろか池、送水ポンプ、など

【説明】

(ア) は、水不足がおきないようにするとともに、わたしたちの暮らしに必要な水の量を調節します。

水げんの森林は、(イ) をたくわえ、洪水を防いだり、水をきれいにしたりします。(ア) と同じような働きがあることから、(ウ) と呼ばれています。

- ①下水 ②川 ③緑のダム ④山 ⑤海水
⑥ダム ⑦水道 ⑧発電所 ⑨雨水 ⑩信号機

解答欄

(ア) (イ) (ウ)

森林のはたらき

- ・ 森林の土はよく水をふくむ ・ 少しずつ地下水となる
- ・ 川になる ・ こう水をふせぐはたらきもある

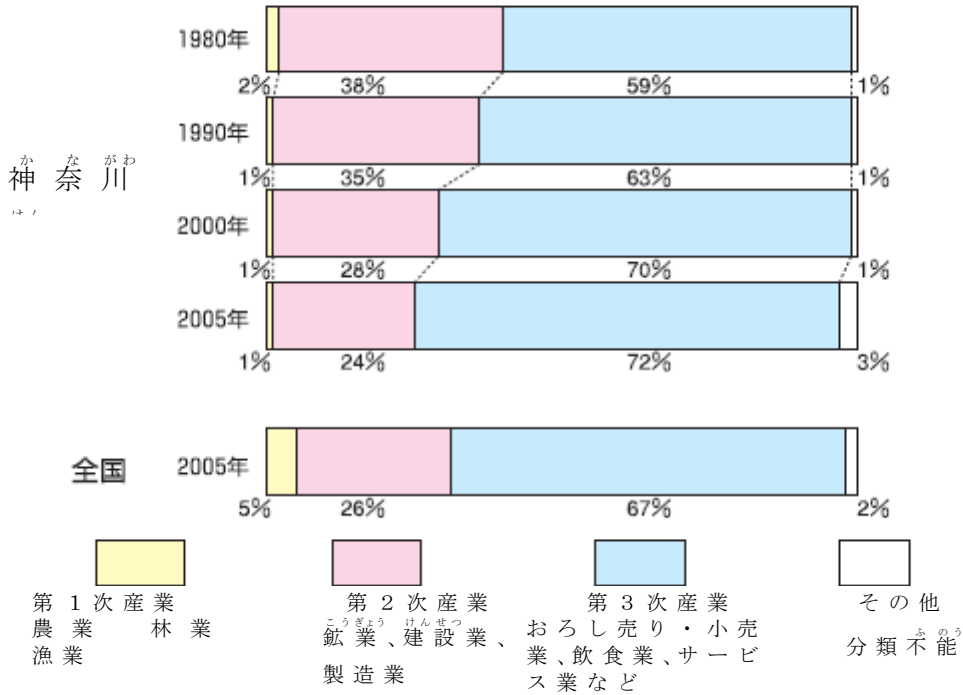
年 組 番号 名前

教材 4 - (2) の解答例

資料の活用

- ① 次の【グラフ】「産業別人口の割合の移りかわり」を見て、気づいたことをまとめましょう。

【グラフ】「産業別人口の割合の移りかわり」



「わたしたちの神奈川県平成 24 年」版

【解答例】

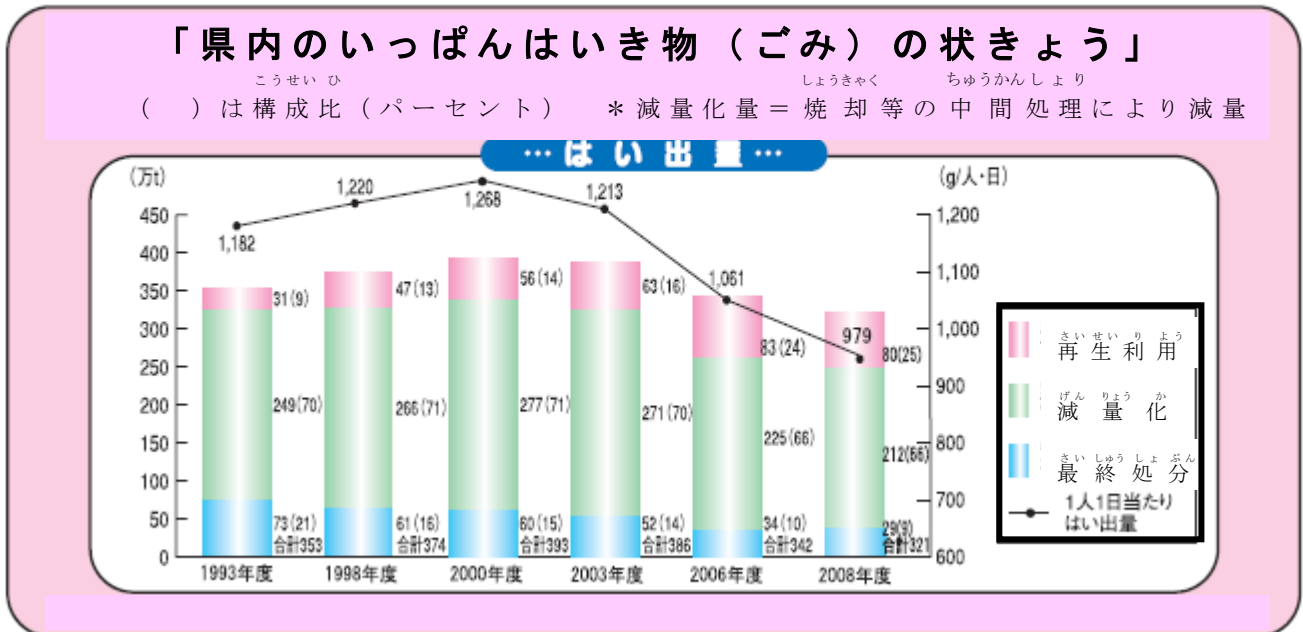
- 神奈川県は第2次産業の人口が減り、第3次産業の人口が増えている。
- 工業がおとろえ、お店を経営したりサービスしたりする仕事がさかんになっている。産業の様子に変化してきている。

ポイント

- 数の変わり方（変化の様子）に気をつけて、グラフの数値を読み取りましょう。
- なぜそのような変わり方になったのか、その理由も考えてみましょう。

- ② 次の【グラフ】「県内のいっばんはいき物（ごみ）の状きょう」を見て、気づいたことをまとめましょう。

【グラフ】



「わたしたちの神奈川県平成 24 年版」

【解答例】

- 1人当たりのはい出量は2000年から減ってきており、再生利用量は増えてきている。
- 3Rの考え方が広まり、ごみの量が減った。

ポイント

- 二つのグラフをくらべて、数の変わり方（変化の様子）がちがっているところをさがしてみましよう。
- なぜそのような変わり方になったのか、その理由も考えてみましよう。
- 考えた理由を説明するために、必要な資料を集めましよう。

□年 □組 □番 名前 □

教材 4- (3) ワークシート

健康な生活や良好な生活かん境きょうを守るためのし

ごみが多くなってしまう原因げんいんについてまとめてみま

ポイント

- 自分の家や学校から出されるごみの種類や量を調べてみましょう。
- 自分の住んでいる地いきのごみの出し方のルールを調べてみましょう。

ごみを少なくするための行動計画を立てましょう。

① 自分ができること

ポイント

ごみを減らすための「3R」
それぞれの活動をふり返ってみま
よう。

「リデュース（ごみを出さない）」
「リユース（使えるものはくり返し使



② 友達といっしょにできること

ポイント

○ 自分たちが取り組む
ことだけではなく、
まわりの人たちによ
びかける方法も考
えてみましょう。

○ 今すぐにはできなく
ても大人おとなになったら
したいことについ
てもまとめてみましょ



③ 多くの人と力を合わせてできること



教材 4-(4)ワークシートの 健康な生活や良好な生活かん境を守るためのしよ活

あるクラスで、「わたしたちの使う水」の学習をふり返り、限りある^{かぎ}資げんである水の使
い方について話し合いました。

「これから自分たちにできることは何か」について、下の4人の話し合いに加わるとし
たら、あなたはどのような意見を発表しますか。「わたしの考え」のらんに書きましょう。

わたしたちの生活にとって水が大切
な資げんであることが分かりました。

これからは、おふろの残り湯は、せ
んたくや花の水やりに使うなど、でき
るだけ水をむだにしないように、使い
方を工夫したいと思います。

わたしたちが安心して水道水を使えるのは、
ダムやじょう水場などのし^{せつ}設で、たくさんの人
が働いてくれているからだということが分か
りました。

これからは、水道水を使うときには感謝^{かんしゃ}して
大切に使いたいと思います。

実際に調べてみて、自分の家ではどのくら
い水道水を使っているのかが分かりました。

これからは、今までと比べて^{くら}使いすぎてい
ないか点検^{てんけん}をすることで、節水に心がけたい
と思います。

ダムやじょう水場など、水道に関係するし^{せつ}設を作るために、多
くの
お金や広い土地が必要だということがわかりました。

これからは、たくさん水道水を使って、できるだけ多くの料金を
はらうことで協力したいと思います。

わたしの考え

(例)かぎられた資げんである水を、安心して利用できることに感謝したい。

さらに学習を深めよう

水道水がどのようにして、わたしたちの所までとどくかをまとめましょう。

- ・さまざまなし設で働いている人の工夫や願いも入れてみよう。
- ・「気づいたこと」「自分の考えの変化したこと」も入れてみよう。

さらに学習を深めよう

節水をよびかける方法を考えましょう。

- ・何を中心に伝えと、こうかてきかな？
- ・どのような資料を準備するといいいかな？

年

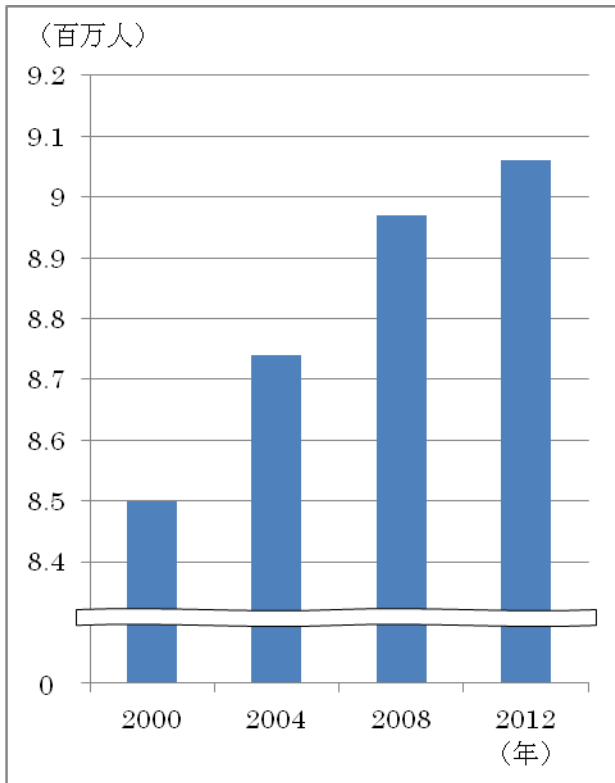
組

番

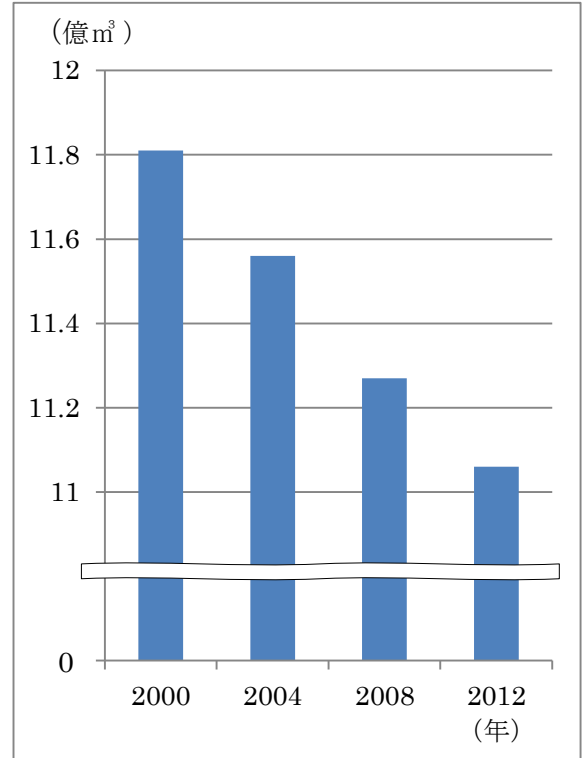
名前

教材 4 - (5) の解説

次の【資料 1】^{しりょう}【資料 2】の 2 つのグラフをくらべて、変化の様子についてわかることを書きましょう。

【資料 1】 神奈川県の人

「平成 24 年度 神奈川の水道」から作成

【資料 2】 神奈川県[※]の給水量

「平成 24 年度 神奈川の水道」から作成

(注) [※] 給水量：家庭や学校、会社までとどけられた水の量

人口は

ふえて
増えることが書いてあれば可

、給水量は

へっている
減っていることが書いてあれば可

なぜそのような変化をしているのか、その理由についてあなたの考えを書きましょう。

水をむだづかいしないように気をつけるようになったから。

人々の節水に向けた取組や努力について書いてあれば可。

グラフを見て気づいたことから、考えられることを話し合い活動で出し合うこともよいでしょう。

その理由について、水道局の人にたずねたり、調べてみることも大切です。

